

人間の尊厳と自立

問題 1 利用者の意思を代弁することを表す用語として**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 アドボカシー (advocacy)
- 2 エンパワメント (empowerment)
- 3 スーパービジョン (supervision)
- 4 インフォームドコンセント (informed consent)
- 5 ソーシャルインクルージョン (Social inclusion)

問題 2 Aさん(82歳、女性、要介護2)は、夫を7年前に看取り、その後は一人暮らしをしている。夜中にトイレに行った時に転倒し、大腿骨頸部を骨折して3か月入院した。自宅に手すりをつけ、段差をなくす住宅改修をした後、退院した。何かにつかまれば、いすからの立ち上がりや歩行ができる。遠方に一人息子が住んでおり、月に1度は様子を見に帰ってくる。週3回、訪問介護の買物代行や部屋の掃除などの生活援助を利用している。Aさんはできるだけ自分のことは自分で行い、このまま自宅での生活を継続したいと希望している。訪問介護員が訪問したときに、Aさんは一人暮らしを続けることが不安であると告げた。

Aさんに対する訪問介護員の応答対応として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 「訪問介護を毎日利用したらどうですか」
- 2 「一人暮らしは大変なので息子さんと同居したらどうですか」
- 3 「また転ぶかもしれないと思っているのですか」
- 4 「施設に入居することを考えたらどうですか」
- 5 「手すりをつけたし、段差もなくしたので転びませんよ」

人間関係とコミュニケーション

問題 3 利用者とのコミュニケーション場面で、介護福祉職が行う自己開示の目的として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 ジョハリの窓 (Johari window) の「解放された部分 (open area) 」狭くするために行う。
- 2 自己を深く分析し、客観的に理解するために行う。
- 3 利用者が自分自身の情報を開示するために行う。
- 4 利用者との信頼関係を評価するために行う。
- 5 利用者との信頼関係を形成するために行う。

問題 4 介護福祉職によるアサーティブ・コミュニケーション (assertive communication) として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 利用者の要求は、何も言わずにそのまま受け入れる。
- 2 利用者から苦情を言われたときは、沈黙して我慢する。
- 3 利用者を説得して介護福祉職の都合に合わせてもらう。
- 4 介護福祉職の提案に従うことが利用者の利益になると伝える。
- 5 利用者の思いを尊重しながら、介護福祉職の意見を率直に伝える。

問題 5 リーダー・管理者とメンバー (部下) とのコミュニケーションに関する次の記述のうち、**適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 リーダーは経験があるので、メンバーから学ぶことはない。
- 2 事故や家族の苦情において、その状況や関係性の確認を行わずに対応をした。
- 3 チーム内の課題達成のためには、リーダーが先頭に立ち、権威的にチームを引っ張っていく。
- 4 メンバー (部下) の良いところ (強み) を知り、伸ばすことを心がける。
- 5 メンバー (部下) の相談に乗り、解決方法を指示する。

問題 6 介護福祉職は B さんから、「認知症 (dementia) の母の介護がなぜかうまくいかない。深夜に徘徊するので、心身共に疲れてきた」と相談された。介護福祉職は、「落ち込んでいてはダメですよ。元気を出して頑張ってください」と B さんに言った。後日、介護福祉職は B さんに対する自身の発言を振り返り、不適切だったと反省した。介護福祉職は B さんに対してどのような返答をすればよかったのか、

最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「お母さんに施設へ入所してもらうことを検討してはどうですか」
- 2 「私も疲れているので、よくわかります」
- 3 「認知症(dementia)の方を介護しているご家族は、皆さん疲れていますよ」
- 4 「近所の人に助けてもらえるように、私から言っておきます」
- 5 「お母さんのために頑張ってきたんですね」

社会の理解

問題 7 地域包括ケアシステムでの、自助・互助・共助・公助に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 自助は、公的扶助を利用して、自ら生活を維持することを言う。
- 2 互助は、社会保険のように制度化された相互扶助をいう。
- 3 共助は、社会保障制度に含まれない。
- 4 公助は、自助・互助・共助では対応できない生活困窮等に対応する。
- 5 共助は、近隣住民同士の支え合いをいう。

問題 8 日本の社会保険制度に関する次の記述のうち、**適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 加入は個人が選択できる。
- 2 保険料だけで運営され、公費負担は行われない。
- 3 医療保険、年金保険、雇用保険、労災保険、介護保険の5つである。
- 4 給付の形態は、現金給付に限られる。
- 5 保険料は、加入者個人のリスクに見合った額になる。

問題 9 生活保護の種類に関する次の記述のうち、**正しいものを1つ**選びなさい。

- 1 住宅に困窮している被保護者は、住宅扶助で公営住宅の一室を現物支給される。
- 2 医療扶助は、治療費や入院費などの領収証をもとに、その額を現金で支給するものである。
- 3 被保護者が自宅で家族の介護をしている場合、介護扶助が支給される。
- 4 教育扶助には、給食費や通学費、教科書代、高等学校就学費などが含まれる。
- 5 自立を促進するため、生業扶助では技能習得に必要な費用や就職支度費が支給される。

問題 10 成年後見制度に関する次の記述のうち、**正しいものを1つ**選びなさい。

- 1 成年後見制度には、法定後見制度と法定外後見制度がある。
- 2 法定後見制度の成年後見の援助対象は、身体上の障害により自己弁護・表現能力が十分でない人である。
- 3 法定後見制度の補助の援助対象は、事理を弁識する能力が不十分な人とされており、家庭裁判所で鑑定する。
- 4 成年後見人は、本人の生活全般にわたる法律行為を代理できる。
- 5 成年後見人が代理権を濫用しないよう、任意後見制度が設けられている。

問題 11 災害時の避難所に関する次の記述のうち、**適切なものを1つ**選びなさい

- 1 介護保険法に基づいて指定される避難所である。
- 2 医療的ケアを必要とする者は対象にならない。
- 3 訪問介護員（ホームヘルパー）が災害対策基本法に基づき派遣される。
- 4 同行援護のヘルパーが、災害救助法に基づき派遣される。
- 5 介護老人福祉施設の入所者は、原則として福祉避難所の対象外である。

問題 12 介護保険法第 1 条に規定されている内容に関する次の記述のうち、**正しいものを 1 つ**選びなさい。

- 1 高齢社会対策の基本理念や基本となる事項を定める。
- 2 福祉サービス利用者の利益の保護及び地域福祉の推進を図る。
- 3 介護が必要となった者等が尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営めるよう、保険給付を行う。
- 4 疾病、負傷もしくは死亡又は出産に関して保険給付を行う。
- 5 老人の福祉に関する原理を明らかにし、老人に対し、心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な措置を講じる。

問題 13 介護保険法に基づき、都道府県・指定都市・中核市が指定（許可）、監督を行うサービスとして、**正しいものを 1 つ**選びなさい。

- 1 地域密着型介護サービス
- 2 居宅介護支援
- 3 夜間対応型訪問介護
- 4 介護予防支援
- 5 施設サービス

問題 14 「2022 年（令和 4 年）国民生活基礎調査」（厚生労働省）による日本の家族や世帯に関する次の記述のうち、**正しいものを 1 つ**選びなさい。

- 1 65 歳以上の者のいる世帯における「三世帯世帯」の割合は、30%を上回っている。
- 2 65 歳以上の「単独世帯」では、女性よりも男性が多い。
- 3 世帯類型別における「母子世帯」の割合は、5%を上回っている。
- 4 65 歳以上の者のいる世帯では、「夫婦のみの世帯」が最も多い。
- 5 1 世帯当たりの平均世帯人員は、3.5 人を超えている。

問題 15 近年、人と人、人と社会とがつながり、一人ひとりが生きがいや役割をもち、助け合いながら暮らしていくことのできる、包摂的なコミュニティ、地域や社会を創るという考え方が示されている。この考え方を表すものとして、**最も適切なものを 1 つ**選びなさい。

- 1 ナショナルミニマム (national minimum)
- 2 バリアフリー社会
- 3 介護の社会化
- 4 生涯現役社会
- 5 地域共生社会

問題 16 Eさん（30歳、女性、知的障害、障害支援区分2）は、現在、日中は特例子会社で働き、共同生活援助（グループホーム）で生活している。今後、一人暮らしをしたいと思っているが、初めてなので不安もある。次のうち、Eさんが安心して一人暮らしをするために利用するサービスとして、**適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 行動援護
- 2 同行援護
- 3 自立訓練（機能訓練）
- 4 自立生活援助
- 5 就労継続支援

問題 17 「障害者総合支援法」の規定により、地方公共団体が設置する協議会の機能として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 障害福祉計画の策定
- 2 相談支援事業所に対する評価
- 3 障害福祉サービス利用者の個別支援計画の策定
- 4 障害者からの苦情の解決
- 5 障害者等への支援体制に関する課題についての情報共有

問題 18 「高齢者虐待防止法」に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 虐待が起こる場として、家庭、施設、病院の3つが規定されている。
- 2 対象は、介護保険制度の施設サービス利用者となっている。
- 3 徘徊しないように車いすに固定することは、身体拘束には当たらない。
- 4 虐待の認定は、警察署が行う。
- 5 虐待を発見した養介護施設従事者には、通報する義務がある。

こころとからだのしくみ

問題 19 マズロー（Maslow,A.）の欲求階層説の所属・愛情欲求に相当するものとして、**適切なものを1つ** 選びなさい。

- 1 自分の遺伝子の継続
- 2 生命を脅かされないこと
- 3 他者からの賞賛
- 4 自分自身の向上
- 5 好意がある他者との良好な関係

問題 20 口腔の清潔が保てなくなる原因として、**最も適切なものを1つ** 選びなさい。

- 1 過食
- 2 口内炎
- 3 唾液の増加
- 4 歯垢の除去
- 5 咳反射の亢進

問題 21 大脳の後頭葉にある機能局在として、**適切なものを1つ** 選びなさい。

- 1 視覚野
- 2 聴覚野
- 3 運動野
- 4 体性感覚野
- 5 感覚性言語野（ウェルニッケ野）

問題 22 廃用症候群（disuse syndrome）で起こる可能性があるものとして、**最も適切なものを1つ** 選びなさい。

- 1 関節炎
- 2 高血圧
- 3 うつ状態
- 4 徘徊
- 5 下痢

問題 23 摂食・嚥下^{えんげ}のプロセスで、軟口蓋が拳上して鼻腔と咽頭部が閉じ、次に喉頭が拳上して喉頭蓋が閉じ、食塊が食道に運ばれる時期として、**正しいものを1つ** 選びなさい。

- 1 先行期
- 2 準備期
- 3 口腔期
- 4 咽頭期
- 5 食道期

問題 24 Hさん（60歳、男性）は、慎重 170 cm、体重 120Kg である。Hさんは浴槽で入浴しているときに毎回「お風呂につかると、からだが軽く感じて楽になります」と話す。胸が苦しいなど、他の訴えはない。

Hさんが話している内容に関連する入浴の作用として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 静水圧作用
- 2 温熱作用
- 3 浮力作用
- 4 清潔作用
- 5 代謝作用

問題 25 良肢位に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 ADL（Activities of Daily Living：日常生活動作）に最も支障が少ない姿勢である。
- 2 肘関節（ちゅうかんせつ）を伸ばした姿勢である。
- 3 つま先が下を向いた姿勢である。
- 4 拘縮を起こしやすい姿勢である。
- 5 クッションを用いた保持は避ける。

問題 26 Gさん（83歳、女性）は、認知機能は正常で、日常生活は杖歩行で自立し外出もしていた。最近、外出が減ったため理由を尋ねたところ、咳やくしゃみで尿が漏れることが多いため外出を控えていると言った。

Gさんの尿失禁として、**適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 機能性尿失禁
- 2 腹圧性尿失禁
- 3 溢流性尿失禁
- 4 反射性尿失禁
- 5 切迫性尿失禁

問題 27 次のうち、ブリストル便性状スケールの普通便に該当するものとして、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 水様便
- 2 硬い便
- 3 泥状便
- 4 コロコロ便
- 5 やや軟らかい便。

問題 28 睡眠に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 加齢に伴って睡眠時間は短くなる。
- 2 睡眠障害の多くは遺伝性である。
- 3 過眠は睡眠時間が長くなることをいう。
- 4 睡眠中は体温が上昇する。
- 5 睡眠周期は約 60 分である。

問題 29 終末期に自分が望むケアをあらかじめ書面に示しておくことを表す用語として、

正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ターミナルケア
- 2 インフォームドコンセント
- 3 リビングウィル
- 4 デスカンファレンス
- 5 グリーフケア

問題 30 死が近づいているときの身体の変化として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 瞳孔の縮小
- 2 筋肉の硬直
- 3 喘鳴
- 4 発汗
- 5 結膜の充血

発達と老化の理解

問題 31 スキャモン (Scammon, R.E) の発達曲線に関する次の記述のうち、**適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 神経系の組織は、4歳ごろから急速に発達する。
- 2 生殖器系の組織は、12歳ごろから急速に発達する。
- 3 筋骨格系の組織は、4歳ごろから急速に発達する。
- 4 循環器系の組織は、20歳ごろから急速に発達する。
- 5 リンパ系の組織は、20歳ごろから急速に発達する。

問題 32 幼稚園児のJさん(6歳、男性)には、広汎性発達障害 (pervasive developmental disorders) がある。砂場で砂だんごを作り、きれいに並べることが好きで、毎日、一人で砂だんごをつくり続けている。

ある日、園児が帰宅した後に、担任が台風に向けて砂場に青いシートをかけておいた。翌朝、登園したJさんが、いつものように砂場に行くと、青いシートがかかっていた。Jさんはパニックになり、その場で泣き続け、なかなか落ち着くことができなかった。

担任は、Jさんにどのような対応すればよかったのか、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 前日に、「あしたは、台風がくるよ」と伝える。
- 2 前日に、「あしたは、台風がくるので砂場は使えないよ」と伝える。
- 3 前日に、「あしたは、おだんご屋さんは閉店です」と伝える。
- 4 その場で、「今日は、砂場はつかえないよ」と伝える。
- 5 その場で、「今日は、おだんご屋さんは閉店です」と伝える。

問題 33 記憶に関する次の記述のうち、**適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 エピソード記憶は、短期記憶に分類される。
- 2 意味記憶は、言葉の意味などに関する記憶である。
- 3 手続き記憶は、過去の出来事に関する記憶である。
- 4 エピソード記憶は、老化に影響されにくい。
- 5 意味記憶は、老化に影響されやすい。

問題 34 高齢者の疾患の特徴として、**適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 症状が定型的である。
- 2 うつ症状は伴わない。
- 3 複数疾患の合併は少ない。
- 4 環境因子の影響を受けにくい。
- 5 生活の質 (QOL) への影響が大きい。

問題 35 加齢に伴う身体機能の低下を感じている高齢者の心理に関する次の記述のうち、

正しいものを1つ選びなさい。

- 1 身体機能の低下に対する不安や悲しみを、自分が経験しているのではなく、友人のことだと考えることで心理的安定を図ろうとすることを、抑圧という。
- 2 受け身的で、子どものように振る舞うことで心理的安定を図ろうとすることを、投影という。
- 3 身体機能の低下の代わりに、認知的な活動での優越感を持つことで心理的安定を図ろうとすることを、補償という。
- 4 身体機能を使う場面を避けて、ひきこもることで心理的安定を図ろうとすることを、退行という。
- 5 身体機能の低下に対する不安や悲しみを、無意識的に抑えることで心理的に安定を図ろうとすることを、逃避という。

問題 36 Bさん（68歳、女性）は、3か月前から、自宅の階段を昇り降りするときに、両膝の痛みが強くなってきた。整形外科を受診したところ、変形性膝関節症と診断された。Bさんの身長は153cm、体重は75kgである。

Bさんの日常生活の留意点として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 歩行を控える。
- 2 正座で座る。
- 3 膝を冷やす。
- 4 体重を減らす。
- 5 杖は使わない。

問題 37 Hさん（75歳、男性）は、一人暮らしであるが、隣人と共に社会活動にも積極的に参加し、ゲートボールや詩吟、芸術活動など多くの趣味をもっている。また、多くの友人から、「Hさんは、毎日を有意義に生活している」と評価されている。Hさん自身も友人関係に満足している。

ライチャード（Reichard, S.）による老齡期の性格類型のうち、Hさんに相当するものとして、**適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 自責型
- 2 防衛型（装甲型）
- 3 憤慨型
- 4 円熟型
- 5 依存型（安楽いす型）

問題 38 高齡期の腎・泌尿器系の状態や変化に関する記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 尿路感染症（urinary tract infection）を起こすことは非常に少ない。
- 2 腎盂腎炎（Pyelonephritis）の主な症状は、頭痛である。
- 3 尿の濃縮力が低下する。
- 4 前立腺肥大症（prostatic hypertrophy）では、尿道の痛みがある。
- 5 薬物が排出される時間は、短くなる。

認知症の理解

問題 39 次のうち、2019年（令和元年）の認知症施策推進大綱の5つの柱に示されているものとして、**適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 市民後見人の活動推進への体制整備
- 2 普及啓発・本人発信支援
- 3 若年性認知症支援ハンドブックの配布
- 4 認知症初期集中支援チームの設置
- 5 認知症カフェ等を全市町村に普及

問題 40 認知症の原因となる疾患の特徴として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 アルハイマー型認知症では、早期から尿失禁が認められる。
- 2 アルツハイマー型認知症では、巣病状は見られない。
- 3 レビー小体型認知症では、人格が大きく変化する。
- 4 レビー小体型認知症では、運動機能障害は見られない。
- 5 クロイツフェルト・ヤコブ病では、進行が速く、1年以内の死亡例も多い。

問題 41 次の記述のうち、若年性認知症（dementia with early onset）の特徴として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 高齢の認知症（dementia）に比べて、症状の進行は緩やかなことが多い。
- 2 男性よりも女性の発症者が多い。
- 3 50歳代よりも30歳代の有病率が高い。
- 4 特定健康診断で発見されることが多い。
- 5 高齢の認知症（dementia）に比べて、就労支援が必要になる。

問題 42 加齢による物忘れと比べたときの、認知症(dementia)による物忘れの特徴として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 見当識障害はない。
- 2 物忘れの自覚はない。
- 3 物忘れが進行しない。
- 4 日常生活に明らかな支障はない。
- 5 体験の一部分だけを思い出せない。

問題 43 認知機能障害に関する次の記述のうち、**正しいものを1つ**選びなさい。

- 1 記憶障害では、初期から手続き記憶が障害される。
- 2 見当識障害では、人物の認識は障害されない。
- 3 失行では、洋服をうまく着られなくなる。
- 4 失認は、視覚や聴覚の障害が原因である。
- 5 実行機能の障害では、A D L (日常生活動作)は障害されない。

問題 44 行動・心理症状（BPSD）に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 徘徊は、認知症であれば誰にでも起こる。
- 2 もの盗られ妄想は、記憶障害とは関係がない。
- 3 幻視に関して、本人の訴えの内容ははっきりしない。
- 4 興奮は、ケアの方法によって生じることがある。
- 5 混乱は、重度の認知症の人には見られない。

問題 45 認知症(dementia)の人への日常生活上の支援に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 次に何をすればよいか判断できない人には、ヒントを伝えて一人で考えてもらう。
- 2 通所介護を利用する曜日がわからない人には、施設への入所を勧める。
- 3 自分が今どこにいるのかわからない人には、そのたびに場所を伝える。
- 4 着衣失行のある人には、着脱のたびに介護福祉職が代わりに行う。
- 5 数分前の出来事を思い出せない人には、昔の思い出を聞かないようにする。

問題 46 Cさん（80歳、女性）は夫（85歳）と二人暮らしである。1年ほど前から記憶障害があり、最近、アルツハイマー型認知症（dementia of the Alzheimer's type）と診断された。探し物が増え、財布や保険証を見つけられないと、「泥棒が入った、警察に連絡して」と訴えるようになった。「泥棒なんて入っていない」と警察を呼ばずにいると、Cさんがますます興奮するので、夫は対応に困っている。夫から相談を受けた介護福祉職の助言として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 「主治医に興奮を抑える薬の相談をしてみてもいいですか」
- 2 「施設入所を検討してはどうですか」
- 3 「Cさんと一緒に探してみてもいいですか」
- 4 「Cさんの希望通り、警察に通報してはどうですか」
- 5 「Cさんに認知症（dementia）であることを説明してはどうですか」

問題 47 レビー小体型認知症（Dementia with Lewy Bodies）にもられる歩行障害として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 しばらく歩くと足にいたみを感じて、休みながら歩く。
- 2 最初の一步が踏み出しにくく、小刻みに歩く。
- 3 動きがぎこちなく、酔っぱらったように歩く。
- 4 下肢は伸展し、つま先を引きずるように歩く。
- 5 歩くごとに骨盤が傾き、腰を左右に振って歩く。

問題 48 認知症ケアパスに関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 都道府県ごとに作られるものである。
- 2 介護保険制度の地域密着型サービスの1つである。
- 3 認知症（dementia）の人の状態に応じた適切なサービス提供の流れをまとめたものである。
- 4 レスパイトケアとも呼ばれるものである。
- 5 介護支援専門員（ケアマネジャー）が中心になって作成する。

障害の理解

問題 49 1960年代のアメリカにおける自立生活運動（IL 運動）に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 障害があっても障害のない人々と同じ生活を送る。
- 2 一度失った地位、名誉、特権などを回復する。
- 3 医療職が機能回復訓練を行う。
- 4 障害者の社会への完全参加と平等を促進する。
- 5 自分で意思決定をして生活する。

問題 50 障害者の法的定義に関する次の記述のうち、**正しいものを1つ**選びなさい。

- 1 身体障害者福祉法における身体障害者は、身体障害者手帳の交付を受けた18歳以上のものをいう。
- 2 知的障害者は、知的障害者福祉法に定義されている。
- 3 「精神保健福祉法」における精神障害者には、知的障害者が含まれていない。
- 4 障害者基本法において発達障害者は、精神障害者に含まれていない。
- 5 障害児は、障害者基本法に定義されている。

（注） 「精神保健福祉法」とは、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」のことである。

問題 51 対麻痺を生じる疾患として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 筋萎縮性側索硬化症(amyotrophic lateral sclerosis : A L S)
- 2 腰髄損傷(lumbar spinal cord injury)
- 3 悪性関節リウマチ(malignant rheumatoid arthritis)
- 4 パーキンソン病(Parkinson disease)
- 5 脊髄小脳変性症(spino cerebellar degeneration)

問題 52 統合失調症（schizophrenia）の特徴として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 振戦せん妄
- 2 強迫性障害
- 3 抑うつ気分
- 4 健忘
- 5 妄想

問題 53 Gさん（56歳、男性）は、糖尿病性網膜症（diabetic retinopathy）に伴う眼底出血を繰り返して、治療を受けていた。医師から失明は避けられないと説明を受けた。その後、Gさんは周囲に怒りをぶつけたり、壁に頭を打ちつけたりという行動がみられるようになった。

このときのGさんの障害受容の状況として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 ショックではあるが、不安はそれほど強くない。
- 2 自分には障害はないと否認する。
- 3 前向きに自己努力を図ろうとする。
- 4 否認ができずに混乱する。
- 5 新しい価値観や役割を見いだす。

問題 54 Dさん（36歳、女性、療育手帳所持）は、一人暮らしをしながら地域の作業所に通っている。身の回りのことはほとんど自分でできるが、お金の計算、特に計画的にお金を使うのが苦手だった。そこで、社会福祉協議会の生活支援員と一緒に銀行へ行って、1週間ごとにお金をおろして生活するようになった。小遣い帳に記録をするようアドバイスを受けて、お金を計画的に使うことができるようになった。

次のうち、Dさんが活用した支援を実施する事業として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 障害者相談支援事業
- 2 自立生活援助事業
- 3 成年後見制度利用支援事業
- 4 日常生活自立支援事業
- 5 日常生活用具給付等事業

問題 55 Dさん（42歳、女性）は、専業主婦で小学生の2人の子どもがいる。うつ病のため、不眠と注意力の低下から家事や育児ができなくなり、精神科病院に通院している。通院以外は自宅に閉じこもり、横になっていることが多い。訪問した介護職に「子どもの世話ができない自分は母親失格」、「何もできない無能な人間になってしまった」と繰り返し話す。Dさんへの対応として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 「ご家族のためにも、早く元気になりましょうね」
- 2 「気分転換に、旅行に行ったらどうですか」
- 3 「子供さんの世話ができないのは、つらいですね」
- 4 「毎日、洗濯や掃除を頑張りましょう」
- 5 「いつも同じことを言っている、病気はよくなりませんよ」

問題 56 Eさん（35歳、女性）は、出産時に脳出血（cerebral hemorrhage）を起こした。現在は片麻痺で車いすを利用し、高次脳機能障害（higher brain dysfunction）による注意障害を持ちながら、乳児を育てている。このようなEさんに対して、多職種による支援が行われることになった。

Eさんにかかわる専門職とその支援内容として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 社会福祉主事が家事援助サービスを提供する。
- 2 保健師が子育て相談を行う。
- 3 身体障害者福祉司が治療体操を行う。
- 4 知的障害者福祉司が精神障害者福祉手帳の申請を行う。
- 5 介護支援専門員がサービス等利用計画を作成する。

問題 57 学習障害の特徴に関する記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 注意力が欠如している。
- 2 じっとしているのが難しい
- 3 読む・書く・計算するなど習得に困難がある。
- 4 脳の機能に障害はない
- 5 親のしつけ方や愛情不足によるものではない。

問題 58 「障害者差別解消法」に関する次の記述のうち、**適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 法の対象者は、身体障害者手帳を持っている人である。
- 2 合理的配慮とは、全ての障害者に同じ配慮をすることである。
- 3 共生社会の実現を目指している。
- 4 障害者は、合理的配慮の提供に努めなければならない。
- 5 障害者差別解消支援地域協議会は、民間事業者で組織される。

医療的ケア

問題 59 介護福祉士が医師の指示の下で行う喀痰吸引の範囲として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 咽頭の手前まで
- 2 咽頭まで
- 3 喉頭まで
- 4 気管の手前まで
- 5 気管分岐部まで

問題 60 次の記述のうち、成人の正常な呼吸状態として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 胸腹部が一定のリズムで膨らんだり縮んだりしている。
- 2 ゴロゴロとした音がする。
- 3 爪の色が紫色になっている。
- 4 呼吸数が1分間に40回である。
- 5 下顎を上下させて呼吸している。

問題 61 介護福祉士が喀痰吸引を指示に従って実施したが、1回の吸引で痰が取り切れなかった。再度、吸引を行うときの対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 呼吸が落ち着いたことを確認する。
- 2 吸引時間を延長する。
- 3 吸引圧を高くする。
- 4 太い吸引チューブに変更する。
- 5 痰がたまっていそうな部位にしばらく吸引チューブをとどめる。

問題 62 胃ろうによる経管栄養での生活上の留意点の説明として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「日中は、ベッド上で過ごします」
- 2 「夜寝るときは、上半身を起こした姿勢で寝ます」
- 3 「便秘の心配はなくなります」
- 4 「口から食べなくても口腔ケアは必要です」
- 5 「入浴は清拭に変更します」

問題 63 次のうち、経管栄養で起こるトラブルに関する記述として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 チューブの誤挿入は、下痢を起こす可能性がある。
- 2 注入物の温度の調整不良は、脱水を起こす可能性がある。
- 3 注入物の濃度の間違いは、感染を起こす可能性がある。
- 4 注入中の姿勢の不良は、便秘を起こす可能性がある。
- 5 注入速度が速いときは、嘔吐を起こす可能性がある。

介護の基本

問題 64 社会福祉士及び介護福祉士法に規定されている介護福祉士の責務として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 地域生活支援事業その他の支援を総合的に行う。
- 2 介護等に関する知識及び技能の向上に努める。
- 3 肢体の不自由な利用者に対して必要な訓練を行う。
- 4 介護保険事業に要する費用を公平に負担する。
- 5 常に心身の健康を保持して、社会的活動に参加するように努める。

問題 65 介護を取り巻く状況に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 ダブルケアとは、夫婦が助け合って子育てをすることである。
- 2 要介護・要支援の認定者数は、介護保険制度の導入時から年々減少している。
- 3 家族介護を支えていた家制度は、地域包括ケアシステムによって廃止された。
- 4 家族が担っていた介護の役割は、家族機能の低下によって社会で代講する必要性が生じた。
- 5 要介護・要支援の認定者のいる三世帯世帯の構成割合は、介護保険制度の導入時から年々増加している。

問題 66 介護サービスにおける個人情報の保護に関する次の記述のうち、**正しいものを1つ**選びなさい。

- 1 個人情報には映像や顔写真は含まれない。
- 2 介護福祉士が個人情報を守秘しなければならない期間は、業務に従事している期間に限られる。
- 3 同一事業所内では匿名化せずにカンファレンスができる。
- 4 本人から個人情報の掲示を求められた場合、いかなる場合も開示しなければならない。
- 5 保険会社からの健康状態の問い合わせには、本人の同意を得ずに伝えることができる。

問題 67 利用者の自立支援に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 利用者の最期の迎え方を決めるのは、家族である。
- 2 利用者が話しやすいように、愛称で呼ぶ。
- 3 利用者が自分でできないことは、できるまで見守る。
- 4 利用者の生活のスケジュールを決めるのは、介護福祉職である。
- 5 利用者の意見や希望を取り入れて介護を提供する。

問題 68 茶道の師範だったFさん(87歳、女性、要介護3)は、70歳の時に夫を亡くし、それ以降は一人暮らしを続けていた。79歳の頃、定期的に実家を訪ねていた長男が、物忘れが目立つようになった母親に気づいた。精神科を受診したところ、アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)と診断された。昨年从小規模多機能型居宅介護を利用しているが、最近は、宿泊サービスの利用が次第に多くなってきている。Fさんは来所しても寝ていることが多く、以前に比べると表情の乏しい時間が増えてきている。介護福祉職がFさんの生活を支えるための介護として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 Fさんが安心して暮らせるように、長男に施設入所を勧める。
- 2 夜間に熟睡できるよう、日中は宿泊室に入らないように説明する。
- 3 長く茶道を続けてきたので、水分補給は緑茶に変更する。
- 4 心を落ち着かせるために、読書を勧める。
- 5 茶道の師範だったので、お茶のたて方を話題にする。

問題 69 ストレスマネジメントに関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 仕事に没頭することでストレスを忘れるようにする。
- 2 自分はストレスを感じることがない考える。
- 3 悩みは他人に相談せずに、自分で解決しようとする。
- 4 困難な現実からは目をそらして、自己を正当化する。
- 5 自分に合った適切な対処法を持つ。

問題 70 介護保険施設の駐車場で、下記のマークを付けた車の運転手が困った様子で手助けを求めている。介護福祉職の対応として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 手話や筆談を用いて話しかける。
- 2 杖を用意する。
- 3 拡大読書器を使用する。
- 4 移動用リフトを用意する。
- 5 携帯用点字器を用意する。



問題 71 社会奉仕の精神をもって、住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める者として、**適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 生活相談員
- 2 訪問介護員（ホームヘルパー）
- 3 通所介護職員
- 4 介護支援専門員（ケアマネージャー）
- 5 民生委員

問題 72 施設利用者の多様な生活に配慮した介護福祉職の対応として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 夜型の生活習慣がある人に、施設の就寝時刻に合わせてもらった。
- 2 化粧を毎日していた人に、シーツが汚れるため、化粧をやめてもらった。
- 3 本に囲まれた生活をしてきた人に、散乱している本を捨ててもらった。
- 4 自宅で畳に布団を敷いて寝ていた人に、ベッドで寝てもらった。
- 5 自宅で夜間に入浴をしていた人に、夕食後に入浴してもらった。

問題 73 訪問介護員（ホームヘルパー）が、利用者や家族からハラスメントを受けたときの対応に関する記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 利用者に後ろから急に抱き着かれたが、黙って耐えた。
- 2 利用者が繰り返す性的な話を、苦痛だが笑顔で聞いた。
- 3 家族から暴言を受けたが、担当なのでそのまま利用者宅に通った。
- 4 家族からサービス外のことを頼まれて、断ったら怒鳴られたので実施した。
- 5 利用者から暴力を受けたので、「やめてください」と伝え、上司に相談した。

コミュニケーション技術

問題 74 介護福祉職が行う傾聴に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 利用者が抱いている感情を推察する。
- 2 利用者が話す内容を介護福祉職の価値観で判断する。
- 3 対話の話題を介護福祉職の関心で展開する。
- 4 利用者が体験した客観的事実の把握を目的とする。
- 5 利用者が沈黙しないように対話する。

問題 75 利用者の家族と信頼関係を形成するための留意点として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 家族の希望を優先する。
- 2 話し合いの機会を丁寧にもつ。
- 3 一度形成した信頼関係は、変わらずに継続すると考える。
- 4 家族に対して、「こうすれば良い」と指示を出す。
- 5 介護は全面的に介護福祉職に任せてもらう。

問題 76 Aさん(97歳、女性)は、介護老人福祉施設に入所している。最近、衰弱が進んで水も飲めなくなり、「もう、逝ってもいいんだけどね」とつぶやくことが増えた。ある日、夜勤の介護福祉職がAさんの様子を確認しようとベッドに近づくと、Aさんが目を開けて、「お迎えはまだかしらね」と穏やかな顔で言った。Aさんの発言に対する介護福祉職の対応として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 何も考えずに早く寝た方がいいと就寝を促す。
- 2 Aさんの手を握り、ゆっくりさする。
- 3 そのような言葉を言ってはいけないと伝える。
- 4 明日、家族に連絡して来てもらうことを伝える。
- 5 いつものことだと思って、声をかけずにそのまま部屋を出る。

問題 77 Eさん(87歳、女性、要介護3)は、介護老人福祉施設に入所していて、認知症(dementia)がある。ある日、担当のF介護福祉職がEさんの居室を訪問すると、Eさんは、イライラした様子で、「私の財布が盗まれた」と言ってベッドの周りをうろうろしていた。一緒に探すと、タンスの引き出しの奥から財布が見つかった。

F介護福祉職は、Eさんのケアカンファレンス(care conference)に出席して、この出来事について情報共有することにした。Eさんの状況に関する報告として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 「Eさんの認知機能が低下しました」
- 2 「Eさんは、誰かに怒っていました」
- 3 「Eさんには、もの盗られ妄想があります」
- 4 「Eさんは、財布が見つかって、安心していると思います」
- 5 「Eさんは、財布が盗まれたと言って、ベッドの周りをうろうろしていました」

次の事例を読んで、**問題 78**、**問題 79** について答えなさい。

〔事 例〕

Kさん（83歳、女性、要介護3）は、10年前の脳出血（cerebral hemorrhage）による後遺症で高次脳機能障害（higher brain dysfunction）がある。感情のコントロールが難しく、興奮すると大声をあげて怒りだす。現在は、訪問介護（ホームヘルプサービス）を利用しながら、自宅で長男（60歳）と二人暮らしをしている。長男は、会社を3年前に早期退職し、Kさんの介護に専念してきた。顔色が悪く、介護による疲労を訴えているが、「介護を続けて、母を自宅で看取りたい」と強く希望している。別居している長女は、長男の様子を心配して、「母親の施設入所の手続きを進めたい」という意向を示している。

問題 78 訪問介護員（ホームヘルパー）が、興奮しているときのKさんとコミュニケーションをとるための方法として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 興奮している理由を詳しく聞く。
- 2 興奮することはよくないと説明する。
- 3 冷静になるように説得する。
- 4 事前に作成しておいた日課表に沿って活動してもらう。
- 5 場所を移動して話題を変える。

問題 79 次のうち、閉じられた質問として、**適切なものを1つ**選びなさい

- 1 「午後はどのようにすごしますか」
- 2 「困っていることはなんですか」
- 3 「この本は好きですか」
- 4 「どのような歌が好きですか」
- 5 「なぜそう思いますか」

生活支援技術

問題 80 睡眠の環境を整える介護に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 マットレスは、腰が沈むくらい柔らかいものにする。
- 2 臭気がこもらないように、寝室の換気をする。
- 3 枕は、頸部が前屈する高さにする。
- 4 寝室内の温度を 20℃に調整する。
- 5 睡眠状態を観察できるように、寝室のドアは開けておく。

問題 81 介護が必要な利用者の口腔ケアに関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 うがいができる場合には、ブラッシング前にうがいをする。
- 2 歯磨きは、頭部を後屈させて行う。
- 3 部分床義歯のクラスプ部分は、流水で軽く洗う。
- 4 全部の歯がない利用者には、硬い毛の歯ブラシを使用する。
- 5 舌の清拭は、手前から奥に向かって行う。

問題 82 次の記述のうち、血液透析を受けている利用者への食事の介護として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 塩分の多い食品をとるように勧める。
- 2 ゆでこぼした野菜をとるように勧める。
- 3 乳製品を多くとるように勧める。
- 4 水分を多くとるように勧める。
- 5 魚や肉を使った料理を多くとるように勧める。

問題 83 更衣のための介護に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 手指の細かい動作が難しい利用者には、マグネット式のボタンを勧める。
- 2 認知症(dementia)のある利用者には、ボタンエイドの使用を勧める。
- 3 下肢の筋力低下のある利用者には、立位で更衣をするように勧める。
- 4 視覚障害のある利用者には、ソックスエイドの使用を勧める。
- 5 片麻痺のある利用者には、袖ぐりの小さい上衣を勧める。

問題 84 入浴の介護に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 着替えの衣服は、介護福祉職が選択する。
- 2 空腹時の入浴は控える。
- 3 入浴前の水分摂取は控える。
- 4 食後 1 時間以内に入浴する。
- 5 入浴直前の浴槽の湯は、45℃で保温する。

問題 85 ノロウイルスに感染した人の嘔吐物のついた衣服の処理に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 嘔吐物を拭き取ったペーパータオルはごみ箱に捨てる。
- 2 汚染された部分にアルコールを噴霧する。
- 3 汚染された部分を強くもみ洗いする。
- 4 嘔吐物を取り除いた後、次亜塩素酸ナトリウム溶液につける。
- 5 40℃の湯で洗濯する。

問題 86 スライディングボードを用いた、ベッドから車いすへの移乗の介護に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 アームサポートが固定された車いすを準備する。
- 2 ベッドと車いすの間を大きくあけ、スライディングボードを設置する。
- 3 スライディングボード上では、臀部を素早く移動させる。
- 4 ベッドから車いすへの移乗時には、ベッドを車いすの座面より少し高くする。
- 5 車いすに座面を安定させ、からだを傾けずにスライディングボードを抜く

問題 87 いすに座っている右片麻痺の利用者の食事介護時の留意点として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 口の右側に食物を入れる。
- 2 利用者の左腕はテーブルの上へのせたままにしておく。
- 3 刻み食にする。
- 4 上唇にスプーンを運ぶ。
- 5 一口ごとに、飲み込みを確認する。

問題 88 次の記述のうち、起座位で足浴を行う介護方法として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 ずぼんを脱いだ状態で行う。
- 2 湯温の確認は、介護福祉職より先に利用者に行ってもらう。
- 3 足についた石鹸の泡は、洗い流さずにふき取る。
- 4 足底は、足浴容器の側面についていることを確認する。
- 5 足浴用容器から足を上げた後は、自然乾燥させる。

問題 89 Cさん(81歳、女性)は、介護老人保健施設に入所している。腹圧性尿失禁があり、トイレでの排泄や下着の交換には介護が必要だが、遠慮して下着の交換を申し出ないことがある。食堂で昼食をとっている最中に激しくむせ込んでいたので背中をさすったところ、むせ込みは収まったが失禁をしたらしく、周囲に尿臭が漂った。このときの介護福祉職の対応として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 尿臭がすることを伝える。
- 2 下着が濡れていないかと尋ねる。
- 3 むせた時に尿が漏れなかったかと尋ねる。
- 4 トイレに誘導して、下着を交換する。
- 5 Cさんが下着を替えてほしいと言うまで待つ。

問題 90 介護予防教室で介護福祉職が行う安定した歩行に関する助言として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 「歩幅を狭くしましょう」
- 2 「腕の振りを小さくしましょう」
- 3 「足元を見ながら歩きましょう」
- 4 「後ろ足のつま先で地面を蹴って踏み出しましょう」
- 5 「つま先から足をつきましょう」

問題 91 Cさん(75歳、男性)は、頸椎症 (cervical spondylosis)と診断された。手がしびれ、指先に力が入らない。しびれが強い左手に加えて、最近では、右手の症状が進行して、食後の歯磨きがうまくできなくなった。Cさんが口腔の清潔を保つための介護福祉職の助言として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 歯間ブラシの使用を勧める。
- 2 歯ブラシをやめて、洗口液のうがいをするように勧める。
- 3 柄を太くした歯ブラシの使用を勧める。
- 4 口をすすぐときは、上を向くように勧める。
- 5 歯ブラシを歯肉に当てるように勧める。

問題 92 屋外での車いすの介助方法として、**適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 段差を上がるときは、キャスターを斜めに向ける。
- 2 段差を下がるときは、後ろ向きで後輪から下りる。
- 3 急な上り坂では、両腕の力で素早く進む。
- 4 急な下り坂では、前向きで進む。
- 5 砂利道では、後輪を持ち上げて進む。

問題 93 消化管ストーマを造設した利用者への睡眠の介護に関する記述として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 寝る前に、パウチに便がたまっていたら捨てる。
- 2 寝る前にストーマから出血がある場合は、軟膏を塗布する。
- 3 寝る前に、ストーマ装具を新しいものに交換する。
- 4 便の漏れが心配な場合は、パウチの上からおむつを強く巻く。
- 5 睡眠を妨げないように、パウチの観察は控える。

問題 94 洗濯に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 ほころびや破れがあるものは、修理してから洗濯する。
- 2 色が移るのを防ぐために、素材の違うものは分けて洗濯する。
- 3 嘔吐物で汚れたカシミアのセーターは、塩素系漂白剤につけてから洗濯する。
- 4 ファスナーは開けた状態で洗濯する。
- 5 マジックテープは、はずした状態で洗濯する。

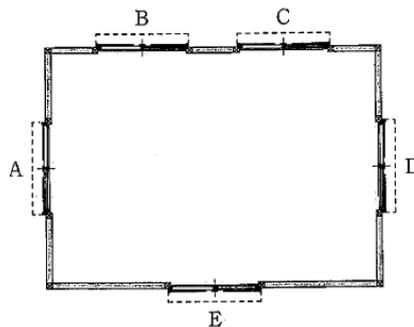
問題 95 高齢者施設で利用者の死後に行うデスカンファレンス（death conference）に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 ボランティアに参加を求める。
- 2 ケアを振り返り、悲しみを共有する。
- 3 利用者の死亡直後に行う。
- 4 個人の責任や反省点を追求する。
- 5 自分の感情は抑える。

問題 96 図は、扉を閉めた部屋の窓の位置を表している。効果的な換気を行うために開ける窓として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

（注）窓の大きさや高さはすべて同じものである。天井の高さは同じである。家具は何もない。周囲に建物はない。

- 1 Aだけ開ける。
- 2 BとCを開ける。
- 3 Eだけ開ける。
- 4 AとDを開ける。
- 5 AとEを開ける。



問題 97 高齢者の食生活に関する助言として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 高血圧症の予防として、果物の摂取を控える。
- 2 骨粗鬆症の予防として、ビタミンDの摂取を勧める。
- 3 便秘の予防として、水分摂取を控える。
- 4 ドライマウス予防として、柔らかい食物を勧める。
- 5 逆流性食道炎の予防として、食後すぐに横になる。

問題 98 Lさん(86歳、女性)は、アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)があり、通所介護に通っている。最近、季節外れの服を着ていることが多くなった。夏のある日、通所介護の介護福祉職が迎えに行くと、厚手の上着を着て汗をかきながら玄関で待っていた。

介護福祉職のLさんへの対応として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 車を待たせているので早く着替えましょうと、着替えを促す。
- 2 鏡を見せて、間違いを指摘する。
- 3 今は夏ですよと、季節を伝える。
- 4 服装にはふれず、そのまま本人の行動を尊重する。
- 5 汗をかいていますね。上着を脱ぎませんかと、働きかける。

問題 99 左片麻痺で杖を使用している利用者の階段昇降時の介護として、**正しいものを1つ**選びなさい。

- 1 上がるときは、患側の足から出すように促す。
- 2 上がるときは、利用者の左後方に立つ。
- 3 健側の upper limb を支える。
- 4 下りるときは、健側の足から出すように促す。
- 5 下りるときは、利用者の右後方に立つ。

問題 100 ベッドに比べて畳の部屋に布団を敷いて寝ている場合の利点について、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 布団に湿気がこもらない。
- 2 立ち上がりの動作がしやすい。
- 3 介護者の負担が少ない。
- 4 転落の不安がない。
- 5 床からの音や振動が伝わりにくい。

問題 101 入浴介護に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 入浴前の血圧が平常時より高くても、自覚症状がなければ入浴を勧める。
- 2 プライバシーを保護するために、皮膚の観察はしない。
- 3 湯温は、介護福祉職が直接肌で触れて確認する。
- 4 浴槽への出入りにシャワーチェアを用いるときは、浴槽より低い位置に調整する。
- 5 片麻痺の利用者の場合は、麻痺側から浴槽に入る。

問題 102 視覚障害のある利用者の外出に同行するときの支援に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 トイレを使用するときは、トイレ内の情報を提供する。
- 2 階段を上るときは、利用者の手首を握って誘導する。
- 3 狭い場所を歩くときは、利用者の後ろに立って誘導する。
- 4 タクシーに乗るときは、支援者が先に乗って誘導する。
- 5 駅ではエレベーターよりエスカレーターの使用を勧める。

問題 103 胃・結腸反射を利用して、生理的排便を促すための介護福祉職の支援として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 歩行を促す。
- 2 起床後に冷水を飲んでもらう。
- 3 腹部のマッサージをする。
- 4 便座に誘導する。
- 5 離床する時間を増やす。

問題 104 利用者の障害特性に適した福祉用具の選択に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 言語機能障害の利用者には、ストッキングエイドの使用を勧める。
- 2 全盲の利用者には、音声付き電磁調理器の使用を勧める。
- 3 聴覚障害の利用者には、床置き式手すりの使用を勧める。
- 4 右片麻痺の利用者には、交互型歩行器の使用を勧める。
- 5 肘関節拘縮の利用者には、座位時分散クッションの使用を勧める。

問題 105 死期が近づいたときの介護に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 食事量が減少したときは、高カロリーの食事を用意する。
- 2 チアノーゼ (cyanosis) が出現したときは、冷罨法を行う。
- 3 傾眠傾向にあるときは、話しかけないようにする。
- 4 全身倦怠感があるときは、全身清拭から部分清拭に切り替える。
- 5 口腔内乾燥があるときは、アイスマッサージを行う。

介護過程

問題 106 介護福祉職が介護過程を展開する意義に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 チームアプローチ (team approach) による介護を提供することができる。
- 2 直感的な判断をもとに介護を考えることができる。
- 3 今までの生活から切り離れた介護を提供する。
- 4 介護福祉職が生活を管理するための介護を考えることができる。
- 5 介護福祉職が実施したい介護を提供する。

問題 107 介護過程におけるアセスメントの目的として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 より多くの情報の収集
- 2 介護福祉職の技能の向上
- 3 生活課題の明確化
- 4 ICF (国際生活機能分類) の視点による情報の分類
- 5 1つの場面に焦点を当てた観察

問題 108 生活上の課題に関する次の記述のうち、**適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 課題が複数ある場合は、優先順位をつける。
- 2 潜在的なものは取り上げない。
- 3 問題解決思考では明暗化できない。
- 4 個人因子による課題よりも環境因子による課題を優先する。
- 5 課題を抽出するためには、1つの情報を解釈すればよい。

問題 109 次の記述のうち、居宅サービス計画と訪問介護計画の関係として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 訪問介護計画を根拠に、居宅サービス計画を作成する。
- 2 居宅サービス計画の目標が変更されても、訪問介護計画は見直しをせず継続する。
- 3 居宅サービス計画と同じ内容を、訪問介護計画に転記する。
- 4 居宅サービス計画の方針に沿って、訪問介護計画を作成する。
- 5 訪問介護計画の終了後に、居宅サービス計画を作成する。

問題 110 介護計画の実施に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 介護福祉職の価値観に沿って実施する。
- 2 実施した状況は客観的に記録する。
- 3 計画の内容は実施の直前に家族に伝える。
- 4 他職種への経過報告は目標の達成後に行う。
- 5 利用者の満足度よりも目標の達成を優先する。

問題 111 介護過程の評価に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 生活状況が変化しても、介護計画で設定した日に評価する。
- 2 利用者の満足度を踏まえて評価する。
- 3 サービス担当者会議で評価する。
- 4 相談支援専門員が中心になって評価する。
- 5 介護計画の実施中に評価基準を設定する。

問題 112 Cさん（84歳、女性、要介護3）は、2か月前に自宅で倒れた。脳出血と診断され、後遺症で左片麻痺になった。Cさんは、自宅での生活を希望している。長男からは、「トイレが自分でできるようになってから自宅に戻ってほしい」との要望があった。そのため、病院から、リハビリテーションを目的に介護老人保健施設に入所した。

入所時、Cさんは、自力での歩行は困難だが、施設内では健側を使って車いすで移動することができる。また、手すりにつかまれば自分で立ち上げられるが、上半身が後ろに傾くため、移乗には介護が必要な状態である。

入所時に介護福祉職が行うアセスメントに関する次の記述のうち、**最も優先するべきものを1つ**選びなさい。

- 1 自力で歩行ができるかを確認する。
- 2 孫と面会する頻度について希望を聞く
- 3 リクライニング車いすの活用について尋ねる。
- 4 排泄に関連した動作について確認する。
- 5 住宅改修に必要な資金があるのかを確認する。

問題 113 Kさん（80歳、男性）は、右片麻痺があり、移動は杖歩行となっている。Kさんは、体力の低下や、歩行にふらつきもみられることから、転倒の恐れもあり、あまり外出しないているが、「いつかは一人で隣町のデパートまで歩いていきたい」という希望がある。そのため、個別介護計画に、「デパートまで自力で杖歩行ができる」という長期目標を設定した。

この長期目標に対して、短期目標を設定する場合、**適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 タクシーを活用してデパートまで行くことができる。
- 2 杖なしで歩行することができる。
- 3 転倒予防のため、できるかぎり歩かないようにする。
- 4 介護職の負担を軽くするために、体力の維持・向上を図ってもらう。
- 5 安全に杖歩行ができる。

総合問題

(総合問題1)

次の事例を読んで、**問題 114 から問題 116** までについて答えなさい。

【事例】

Dさん(70歳、男性)は、自宅で妻と二人暮らしで、年金収入で生活している。ある日車を運転中に事故に遭い救急搬送された。医師からは、第4胸髄節まで機能が残存している脊髄損傷(spinal cord injury)と説明を受けた。Dさんは、入院中に要介護3の認定を受けた。

Dさんは、退院後は自宅で生活することを望んでいた。妻と一緒に暮らしたいと思うが、Dさんの身体状況を考えると不安を感じていた。介護支援専門員(ケアマネジャー)は、「退院後は、在宅復帰を目的に、一定の期間、リハビリテーション専門職がいる施設で生活してはどうか」とDさんに提案した。Dさんは妻と退院後の生活について話し合った結果、一定期間施設に入所して、その間に、自宅の住宅改修を行うことにして、介護支援専門員(ケアマネジャー)に居宅介護住宅改修費について相談した。

問題 114 次のうち、Dさんが提案を受けた施設として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 養護老人ホーム
- 2 軽費老人ホーム
- 3 介護老人保健施設
- 4 介護老人福祉施設
- 5 介護医療院

問題 115 次のうち、介護支援専門員(ケアマネジャー)がDさんに説明する居宅介護住宅改修費の支給限度基準額として、**適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 10万円
- 2 15万円
- 3 20万円
- 4 25万円
- 5 30万円

問題 116 Dさんが施設入所してから3か月後、住宅改修を終えた自宅に戻ることとなった。Dさんは自宅での生活を楽しみにしている。その一方で、不安も抱えていたため、担当の介護福祉士は、理学療法士と作業療法士に相談して、生活上の留意点を記載した冊子を作成して、Dさんに手渡した。

次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 食事は、スプーンを自助具で手に固定する。
- 2 移動には、リクライニング式車いすを使用する。
- 3 寝具は、エアーマットを使用する。
- 4 更衣は、ボタンエイドを使用する。
- 5 外出するときは、事前に多機能トイレの場所を確認する。

(総合問題2)

次の事例を読んで、**問題 117 から問題 119** までについて答えなさい。

【事例】

Eさん(35歳、男性)は、1年前に筋萎縮性側索硬化症(amyotrophic lateral sclerosis : ALS)と診断された。当初の症状としては、ろれつが回らず、食べ物の飲み込みが悪くなり、体重の減少がみられた。その後、Eさんの症状は進行し、同居している両親から介護を受けて生活をしていたが、両親の介護負担が大きくなったため、障害福祉サービスを利用することになった。障害支援区分の認定を受けたところ、障害支援区分3になった。Eさんは訪問介護員(ホームヘルパー)から食事や入浴の介護を受けて自宅で生活をしている。

問題 117 Eさんが病院を受診するきっかけになった症状に該当するものとして、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 対麻痺
- 2 単麻痺
- 3 球麻痺
- 4 安静時振戦
- 5 間欠性跛行

問題 118 ある日、Eさんの自宅を訪問した訪問介護員(ホームヘルパー)は、Eさんの両親から、「これまでEは話をするのが難しく、筆談で意思を聞いてきたが、ペンを持つのが難しくなってきた」と聞いた。確かにEさんは、発話や字を書くことは困難な様子だが、目はよく動いている。

次のうち、今後、Eさんが家族とコミュニケーションをとるときに使うことのできる道具として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 ホワイトボード
- 2 絵や写真
- 3 透明文字盤
- 4 拡声器
- 5 補聴器

問題 119 3年後、Eさんの症状はさらに進行し、障害支援区分6になった。Eさんはこれまでどおり、自宅での生活を希望し、Eさんの両親は障害福祉サービスを利用しながら最期まで自宅でEさんの介護を行うことを希望している。

Eさんと両親の希望の実現に向けて、現在の状態からEさんが利用するサービスとして、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 育成医療
- 2 就労定着支援
- 3 共同生活援助(グループホーム)
- 4 行動援護
- 5 重度訪問介護

(総合問題3)

次の事例を読んで、**問題 120 から問題 122** までについて答えなさい。

【事例】

Gさん(84歳、女性)は、8年前に経済的な理由から養護老人ホームに入所した。Gさんは、「自分のことは、自分でやりたい」といつも話しており、毎朝の体操が日課であった。施設のプログラムである健康体操にも他の利用者と楽しみながら毎週参加していた。しかし、最近は、足がすくんだようになり、始めの一步をうまく出せず、歩行に不安を抱えるようになった。Gさんは、物忘れなどの症状が以前からみられていたこと、また他の症状もみられるようになったことから、医師の診察を受けたところ、レビー小体型認知症(dementia with Lewy bodies)と診断された。Gさんは、居室の前にあるトイレに行くとき、転倒してけがをするのではないかと不安になっている。Gさんが入所している施設は、N県から介護保険サービス事業者の指定を受けている。この施設で生活を続けたいというGさんの意向を受けて、本人を交えて施設職員と介護支援専門員が支援の内容を検討した。

問題 120 Gさんが診察を受けるきっかけとなった他の症状とは、発症した認知症(dementia)の特徴的な症状の一つである。他の症状に該当するものとして、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 片麻痺
- 2 脱抑制
- 3 幻視
- 4 常同行動
- 5 感情失禁

問題 121 Gさんの移動に関する支援として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 床にある目印をまたぐように声かけをする。
- 2 車いすで移動する。
- 3 居室にカーペットを敷く。
- 4 歩幅を小さくするように声かけをする。
- 5 四点杖の使用を勧める。

問題 122 Gさんの意向を踏まえた介護保険サービスとして、**正しいものを1つ**選びなさい。

- 1 看護小規模多機能型居宅介護
- 2 小規模多機能型居宅介護
- 3 短期入所療養介護
- 4 特定施設入居者生活介護
- 5 認知症対応型共同生活介護

(総合問題4)

次の事例を読んで、**問題 123 から問題 125** までについて答えなさい。

【事例】

Dさん(38歳、男性、障害支援区分3)は、1年前に脳梗塞(cerebral infarction)を発症し左片麻痺となった。後遺症として左同名半盲、失行もみられる。現在は週3回、居宅介護を利用しながら妻と二人で生活している。ある日、上着の袖に頭を入れようとしているDさんに介護福祉職が声をかけると、「どうすればよいかわからない」と答えた。普段は妻がDさんの着替えを手伝っている。食事はスプーンを使用して自分で食べるが、左側にある食べ物を残すことがある。Dさんは、「左側が見づらい。動いているものにもすぐに反応ができない」と話した。

最近、日常生活の中で、少しずつできることが増えてきた。Dさんは、「人と交流する機会を増やしたい。また、簡単な生産活動ができるようなところに行きたい」と介護福祉職に相談した。

問題 123 Dさんにみられた失行として、**適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 構成失行
- 2 観念失行
- 3 着衣失行
- 4 顔面失行
- 5 観念運動失行

問題 124 Dさんへの食事の支援に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 食事の量を少なくする。
- 2 テーブルを高くする。
- 3 スプーンを持つ手を介助する。
- 4 バネつき箸に替える。
- 5 食事を本人から見て右寄りに配膳する。

問題 125 介護福祉職は、Dさんに生産活動ができるサービスの利用を提案したいと考えている。次のうち、Dさんの発言内容に合う障害福祉サービスとして、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 就労継続支援A型での活動
- 2 地域活動支援センターの利用
- 3 療養介護
- 4 就労定着支援
- 5 相談支援事業の利用